

### <GIGA スクール構想について>

GIGA\*スクール構想とは、子どもたち1人につき1台のタブレット端末等と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、多様な子どもたち一人一人の資質・能力を確実に育成できる教育ICT環境を実現する構想のことです。仕事や家庭など、あらゆる場所でICTの活用が日常的となるこれからの社会においては、適正に自己情報をコントロールして、インターネットや端末を活用し、情報社会を安心・安全に生き抜くための能力や態度をもった子どもたちの育成が求められています。

大阪教育大学附属学校園では、小中学校の子どもたちがいつでもどこでも学ぶことができる環境を構築するため、学校のネットワーク環境を整備し、子どもたちへのタブレット端末の配備を行っています。この整備により、タブレット端末を活用した学習が、これまで以上に円滑に行うことができるようになります。また、ご家庭の皆様におかれましても、ここまでのICT活用学習推進に深いご理解をいただき、ご家庭でのご協力をいただいておりますこと感謝いたします。

今後、整備されたICT環境及びタブレット端末を活用した学習が本格的に始まり、学校だけでなく、家庭においても、筆箱やノートと同じように文房具の一つとしてタブレット端末を学習に使用することになります。その際、子どもたちが自分のアカウントとパスワードといった自己情報を自分で管理することが必要となります。発達段階に応じて、機器や情報の取り扱いについて指導してまいります。ご家庭におかれましても、引き続きご協力とご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

\* Global and Innovation Gateway for All の略

### <Chromebook 端末の利用について>

(1) 今年度より、学校の授業等において、児童・生徒一人1台ずつ端末を利用できるよう、タブレット端末(Chromebook\*)を整備しました。

\*機種：DELL Chromebook 3100 2-in-1, 重量：約1.41kg

(2) 様々な教育コンテンツを柔軟に使用するために、各種クラウドサービスを利用します。使用するクラウドサービスは以下のとおりとし、児童・生徒の「学習成果物」等もクラウド上で安全に管理されます。個人に関する情報は、氏名などシステム運用上最小限必要な情報のみを扱い、住所等は取り扱いません。児童・生徒も自他の個人情報の扱いには十分配慮して使用するものとします。

#### 【使用するクラウドサービス】

- ・プラットフォーム：Google Workspace
- ・閲覧ブラウザ：ドキュメント スプレッドシート classroom Googleドライブ 等
- ・導入アプリ：ロイロノート

※個人的にアプリをインストールすることはできません

(3) 感染症や災害などによる長期休業期間中、また必要に応じて、家庭に端末を持ち帰って学習を行うことがあります。

(4) 端末には、学校のみならず、家庭のネットワークに接続した場合でも有害サイトへのアクセスを制限するフィルタリング等を設定しておりセキュリティ対策を講じています。

### <全児童・生徒に個別配付した、Google アカウントの適正な取り扱いのお願い>

タブレット端末の利用及び Google Workspace, 並びに附属学校園校内の無線ネットワークを利用するために、全児童・生徒に個別のアカウント (ID:「〇〇〇〇…@g.oku.ed.jp」・PW「〇〇〇…」) を発行しています。

- ・個人アカウントは附属高等学校卒業時まで使います。
- ・パスワードは他の人に教えないよう学校で指導しています。
- ・ただし大学・学校の ICT 管理権限者が保守点検・動作確認のために生徒アカウントにログインし、操作を行うことがありますのでご理解ください。

### <セキュリティ設定について>

上記のアカウントを利用し Google サービス (学習で利用する Google 検索など) を利用する際、18 歳未満のユーザー指定設定が適用され、制限がかかります。例えば Google 検索時にセーフサーチが有効になり、検索結果から露骨な表現を含むコンテンツが除外されます。

また、学校で貸し出しするタブレット端末にも、次のようなセキュリティ設定が適用されます。

- ・セーフブラウジング: Google のセーフ ブラウジング テクノロジーにより有害だと判断された Web サイトを、利用者が開こうとした際に、警告が表示される仕組み。その警告を無視できない設定としている。
- ・煩わしい広告を含むサイトでの広告ブロック、アダルトコンテンツのフィルタ設定
  - ・危険なダウンロードのブロック
  - ・Youtube の制限付き (中)
  - ・ダウンロード場所は Google ドライブ (クラウド) のみ

### <プライバシーに関する約束について>

上記のような設定によりセキュリティを高めていますが、このことに加えて、子どもたちが約束を守って適切に使うことで、データを安全に守り、プライバシーに配慮して使えるようにします。

プライバシーに関する約束

- 人に自分のアカウント情報を教えない。
- インターネットに自分や他人の個人情報を書き込まない。
- 自分や他人の人権を守る。
- プライバシーを守る。

※メールやクラスルームへの投稿は記録に残ります。情報の送り先や送る内容を確認、情報の流出や他人を傷つけることないように使用するよう指導していきます。

### <学校での活用について>

#### (1) 使用方法等の学習

基本的な操作方法の学習は、各学校で計画的に行い、日々の授業を通して活用に慣れていけるようにします。使い方のルールは、学年段階に応じて、児童生徒と一緒に考えたり確認したりして、その内容

を保護者の皆様にお伝えしていきます。また、各教科の学習や道徳の時間、実際に情報を収集・発信する場面等において、情報社会での行動に責任をもつこと、危険を回避し情報を正しく安全に利用できることなど、情報モラルに係る学習を行います。

使用に係る健康面については、文部科学省のガイドブックを基に、教室や画面の明るさ、机やいすの高さなどの具体を例示し、日々の授業の中で配慮していきます。また、コンピュータなどの情報機器の使用による健康とのかかわりを理解し、自分で注意したり判断したりできるようにしていきます。

## (2) 授業での主な活用例

- 検索サイトを活用した調べ学習
  - 子どもたち自身が様々な情報にアクセスし、主体的に情報を検索、収集・整理する。
- 一斉学習の場面での活用
  - 誰もがイメージしやすい教材を提示する。
  - リモート会議ツール等により、互いに意見を交流するなど、双方向的に授業を進める。
- 文章作成ソフト、プレゼンソフトの利用
  - 子どもたち一人一人が考えをまとめて発表したり、リアルタイムで考えを共有したりしながら学び合う。
- 一人一人の学習状況に応じた個別学習
  - デジタル教材を活用することで、一人一人の学習進捗状況を把握し、よりきめ細やかな対応を行う。

## <家庭での活用について>

### (1) 活用方法

子どもたちが授業等で利用するタブレット端末は、学習用として学校から貸し出すものです。必要に応じて家庭用に貸し出す（持ち帰る）ことがあります。大切に使用できるよう保護者の皆様にもご協力いただきますようお願いいたします。その際は、事前に各家庭向けに「学習用端末の家庭での利用に係る確認」を配布します。「学習用端末の家庭での利用に係る確認」の配布以降に、お子様が学習用端末の持ち帰りを行うことをもって同意とさせていただきます。

- 端末は、家庭にある Wi-Fi ルータ等に接続してインターネットを利用することができます。また、オフラインで活用できるもの（文書作成、表計算など）もあります。
- 端末を持ち帰らない場合も、全ての児童生徒にアカウントを配付しているので、自宅のパソコン等からアカウントを入力し、クラウドに保存したデータの活用や学校とのやりとりができます。
- Wi-Fi 環境が整っていない家庭には、ルータの貸し出しを案内しています。（各校園による）また、家庭で端末を使用しない・使用できない場合も、ワークシートの配付や、電話・メールを使い、同等の学習が行えるようにします。

## <Chromebook の活用による学習イメージ>

Chromebook の活用により、新学習指導要領で求められる活用シーン（課題の提示と回答の共有、主体的・対話的で深い学びやプログラミング的思考に資する学習、外国語学習）の実現が可能となり

ます。

### 1. 先生からの課題の提示、児童生徒回答の共有 (Classroomの活用)

- ①簡単な操作で、一瞬で全児童生徒に課題を共有
- ②児童生徒は受け取った課題に、調べ学習などを経て考えを記入し先生やクラス全体、グループ単位、特定の児童生徒と共有
- ③児童生徒に配信するオリジナルデジタル教材の簡単な作成と配信

### 2. 主体的・対話的で深い学びに資する活動

- ①児童生徒が共通な課題に対し共同で取り組むことで、議論の活性化
- ②児童生徒の情報発信量の増加による双方向型授業への展開促進

### 3. 表計算・文章作成・プレゼンの3ソフトを使った思考表現の活動

- ①表計算ソフトを活用したプログラミング的思考に資する学習活動
- ②文章作成ソフトを活用した文章作成 (小論文等)
- ③プレゼンテーションソフトを活用したレポート作成や考えの発表活動

### 4. 文章作成ソフトでの音声認識機能を使った英語の発音トレーニング

- ①音声入力モードで、正しく発音できていれば正しい英文が表示される。教科書音読のトレーニングに活用する。

### 1 机間指導の様子



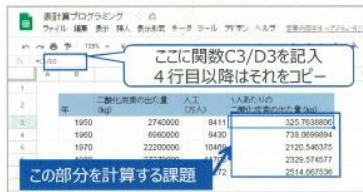
全児童生徒に課題を配布、先生や他の生徒と考えを共有

### 1③ オリジナル教材の作成と配信



オリジナルの教材を簡単に作成し児童生徒に配信

### 3① 表計算ソフトを活用したプログラミング



### 4① 文章作成ソフトで音声認識



### 2① 児童生徒全員の回答一覧表示



子どもたちはタブレットを文房具の一つとして使用できるようになることを目標としています。例えば、学習動画を見たり、分からない言葉や行ったりしたところのない場所を調べたりすることができます。カメラ・ビデオ機能も便利です。

例えば、このような使い方をしています。

#### 【理科】

植物の育つ様子を観察する際に、カメラで撮影しておけば、教室でも植物の育つ変化を確認することができます。

#### 【体育】

運動する様子を、ビデオ機能をつかって撮影すれば、自分の動き方を確認することができます。

また、子どもたちの学びを充実するために、本附属学校園では教員を対象とした ICT 研修等が行われており、タブレットの効果的な使い方について日々学びを進めています。